

# 南市民センターだより

編集・発行

鶴ヶ島市南市民センター／南市民センターだより編集委員会

鶴ヶ島市大字鶴ヶ丘375-1

☎ 287-0235 FAX 271-5291

## 南どんぐりまつり 中止のおしらせ

毎年、秋に行われていた「南どんぐりまつり」を、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止させていただくこととなりました。楽しみにしていただいては、大変申し訳なく思います。

みなさまの健康と安全を最優先に考えた措置となりますので、ご理解の程、よろしくお願い致します。

また楽しいおまつりを、みなさまと一緒に開催できるように、一日も早い収束を切に願っております。



## 利用者皆様のご理解と ご協力をお願い致します

南市民センター所長

木口 敏之

利用者の皆様には、日頃より、南市民センターの運営事業に関し、ご理解とご協力をいただきまして、厚くお礼申し上げます。

さて、この度、市民センターでは「新型コロナウイルス感染症拡大防止のための市民センターの利用基本方針（遵守事項）」を定めました。そして、利用者の皆様がこの利用基本方針に沿いながらご利用いただくということで、去る6月10日から一部制限付きながらも利用再開となりました。ご利用に際しましては、なお不自由な面が残りました。その制限によって活動が一部できない団体が残っていることに関しましては感染拡大防止のための措置として、引き続き、皆様のご理解とご協力をお願い致します。

その新型コロナウイルスですが、感染力の強いこのウイルスがこれだけ世界中に蔓延し、撲滅することは不可能であると言われております。一方、現在各国において、ワクチンや治療薬の開発、実用化に向けて競争が激化しておりますが、消費者経済総研によりますとその実用化には、最短で一年半はかかると予測しております。



感染症と文明の著者でもある長崎大学熱帯医学研究所の山本太郎教授は、「今は、流行の速度を遅らせることが最も重要なフェーズに入っている。一つには、社会インフラの破綻を防ぐ、二つには、流行のピークを遅らせることによってワクチンの開発や治療薬の開発を進められるということ。今、私たちができることは、自分が感染しないこと、人に感染させないこと。万能薬のような解決策はなく、小さなことの積み重ねでしか、もうパンデミックとは向き合えない。」そして、「望むと望まざるとにかかわらず、この地球上に新型コロナウイルスが登場してしまった以上、人類はそのウイルスと共存するための道を探っていくしかない。」と語っています。

小さなことの積み重ね、それは、私たち一人ひとりが、基本的な感染対策を行い、国が提言した「新しい生活様式」を地道に実践して行くことこそが少しでも感染者数を減らすことができクラスタの発生を抑えることができる術ではないかと思えます。

梅雨の時期も半ばを過ぎ鬱陶しい日が続いています。時折、雨の雲が降りながら、ただ一筋に、そして、ひと際可憐に咲き誇る紫陽花の花を眺めてみると、改めてその美しさに魅了されます。これから、梅雨が明け暑い季節となりますが、皆様には、どうぞ健康に留意されますようお願い申し上げます。